

由比生涯学習交流館

静岡県埋蔵文化財センター

令和6年8月6日(火)

出前授業レポート

「歴史に触れ、実際に織物を体験することで、布がどのくらい大切か思いを馳せることが出来ました。」

由比生涯学習交流館の夏休み子ども講座で、体験を通して歴史に触れ、興味・関心をもてるようになることを目的に、小学1年生5人、2年生4人、3年生3人、4年生4人、5年生1人、6年生3人、中学1年生1人が、古代織物体験に挑戦しました。

古代織物体験

最初に、草や樹木の皮を裂いて細く繊維状に紡いで糸を作り、それを編んで布にしていたことなど、織物の歴史について話しました。次に、古代織物キットの袋を開けて縦糸の間に横糸を交互に通していきます。低学年の子どもたちには少し難しかったけど、皆最後まで頑張って織り上げ、うれしそうでした。

「言い方が良かった。」

「ちょっとずつの作業は苦手だけど、出来てうれしかった。」

「初めは少し分からなかったけど、段々分かるようになってきて、段々出来てきてうれしかった。」

担当職員さんの感想

「小学生に古代から時代の背景とともに布の歴史なども話をさせていただきとても分かりやすかったです。織物を通じて歴史にも興味をもつきっかけになったと思います。歴史に触れ、実際に織物を体験することで、布がどのくらい大切か思いを馳せることが出来ました。出来上がったミサンガをととてもうれしそうに見せてくれました。準備も一つ一つ包んできてくださり、大変スムーズにわかりやすく講座が出来ました。」